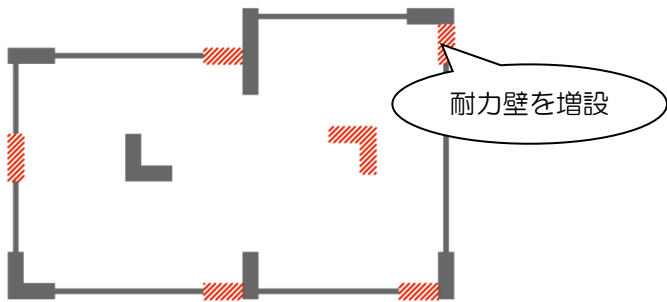
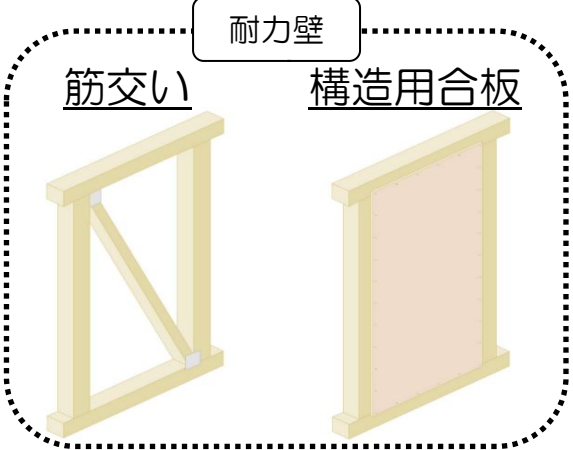
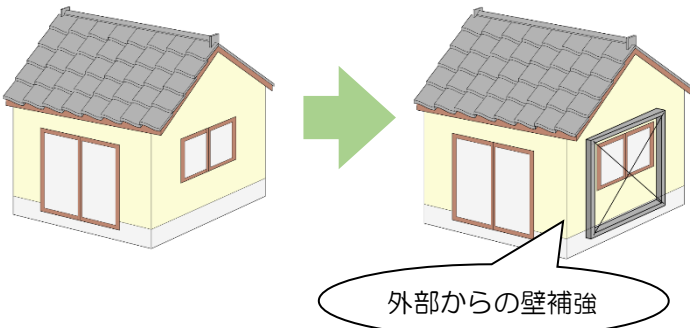
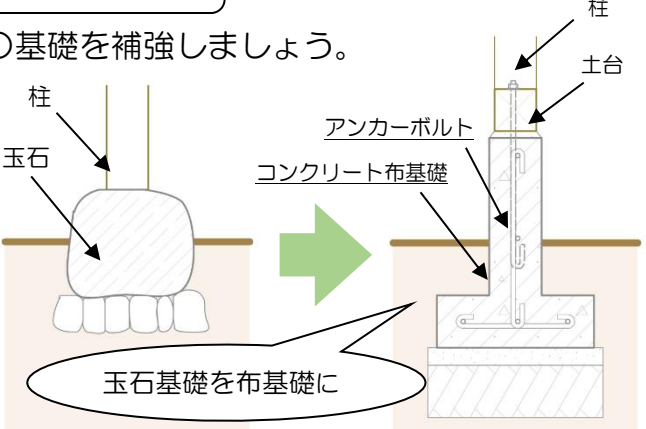
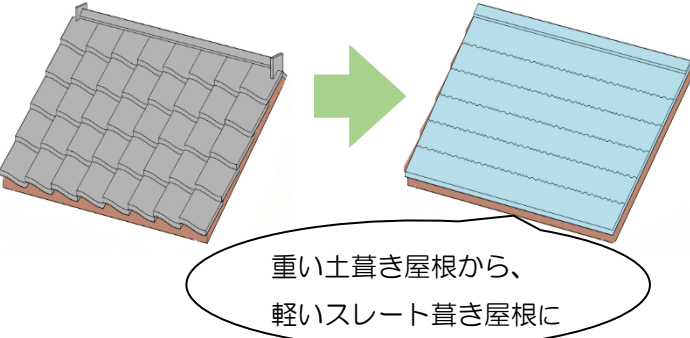
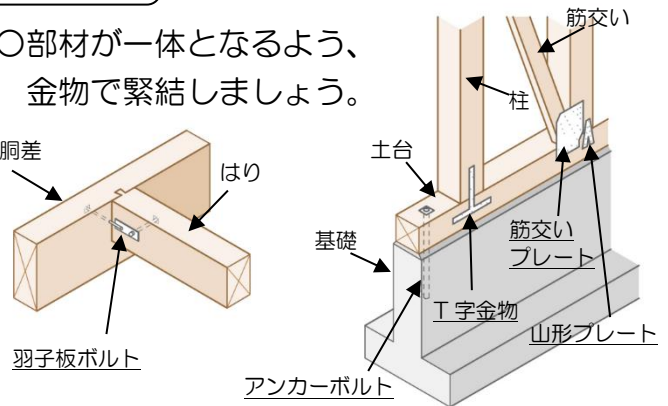


3 耐震改修における補強方法

【補強方法】

- その1：耐力を高くする
- その2：偏りをなくす
- その3：劣化部分を補修する

上部構造評価点を 1.0 以上にするため、具体的な補強方法を理解しましょう!!

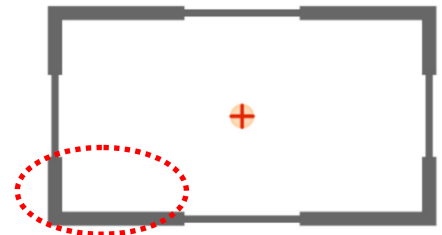
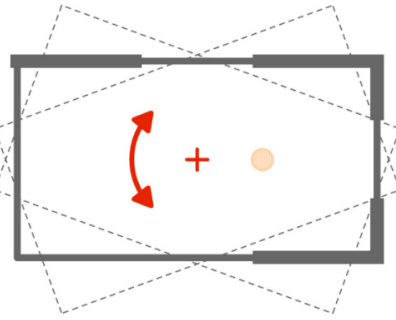
<p>その1</p>	<p>耐力を高くする</p>
<p>壁の増設</p> 	
<p>外付けフレーム</p> 	<p>地盤・基礎</p> <p>○基礎を補強しましょう。</p> 
<p>屋根の葺き替え</p> 	<p>接合部</p> <p>○部材が一体となるよう、金物で緊結しましょう。</p> 

その2

偏りをなくす

耐力壁の配置

○壁のない側に、耐力壁を設けましょう。



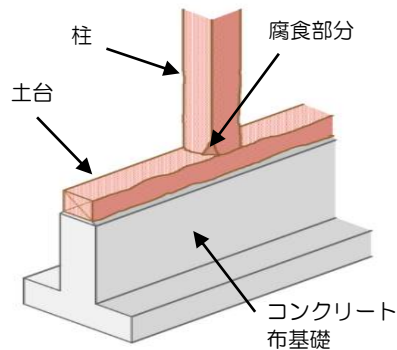
耐力壁をバランス良く配置

その3

劣化部分を補修する

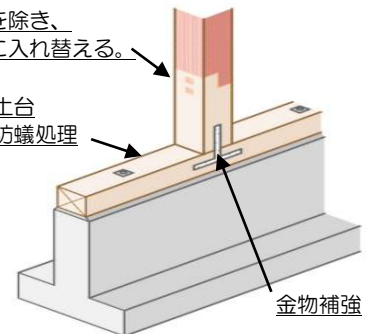
劣化部材

○腐食部分は、新しいものに交換しましょう。



腐食部分を除き、新しい柱に入れ替える。

新しい土台
防腐、防蟻処理



【耐震シェルター】

耐震シェルターとは、住宅内の一部に木材や鉄骨で強固な箱型の空間を作り、安全を確保するものです。

※経済的な理由等で耐震改修できない場合は、耐震シェルターを設置することでも一定の効果があります。

○耐震シェルターの特徴

耐震改修と比較して・・・

- ・費用が安い
- ・工期が短い

○耐震シェルターの設置場所

- ・生活の中心となる部屋に設けることが望ましい

